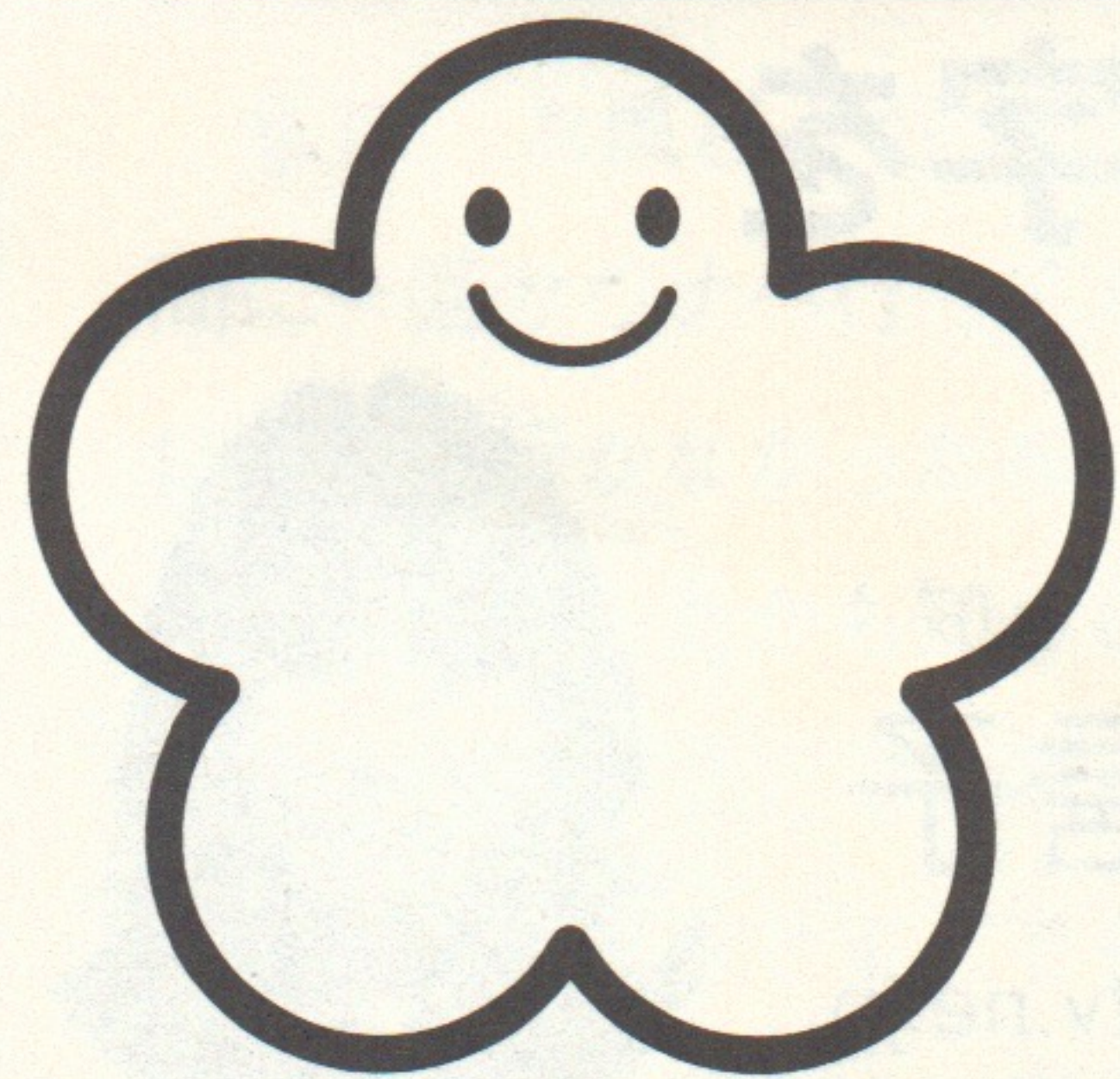




Nihongo Network News

2003.5.16発行

No. 42

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 ☎03-3235-1171

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.4

何かTNVNの現状を表しているのか、春の雨が降ったり止んだり。

第10回総会を平成15年4月12日（土）午後5時半チョット過ぎ、東京・飯田橋・東京ボランティア市民活動センター会議室で開催しました。10回の節目に参加しましたという会員もおられ、TNVN結成以来の団体から最近入会した団体まで多くの方に参加いただきました。

総会に引き続き、栖原 暁 東京大学留学生センター教授から「日本語ボランティアと日本語教育」の講演をいただき日本語ボランティア活動の根強さを改めて認識させていただきました。

懇親会では短い時間でしたが、活動場所が東京都及び周辺に広く分散している参加の方々は、教室活動状況やTNVNの役割・意見、歓談など和やかに過ごされました。

2003年度役員は推薦で

●代 表（事務局長兼務）：梶村 勝利

（早稲田奉仕団日本語ボランティアの会／新宿区）

●副代表：木村 茂（グループWA／足立区）

●会 計：山本 敬子（日本語ともの会／北区）

床呂 英一（まちだ地域国際交流協会／町田市）

●監 査：伊藤 泰子

の5名で進めていくことが承認されました。

TNVNの活動報告

TNVNは1993年12月に結成され、今年は満10年を迎えます。この10年間は会員の方々が各地域で日本語ボランティ

TNVNもボランティア活動で10歳になります。

これからの成長に皆さんのお力を！！

ア活動に深く関わり、その活動を定着・発展させてこられています。

TNVNの会員は現在、正会員：61団体、協力会員：93名、賛助会員：4社で、TNVNの活動・運営にもご協力・ご支援をいただき、その会員の中から有志の方々がTNVNの役員・スタッフ・運営委員として活動・運営にご尽力されています。

この10年を経過する中でTNVNを取り巻く環境は変化し、こうした中でTNVNは日本語学習支援をしている団体・個人、学習支援を求める人達と如何なる結びつきを作り活動して行くか、模索しながら進めています。

(1) 平成14年度はITの利用が広まる中で、TNVNのホームページへのアクセス（平均80数件／日）とE-mailでのボランティア日本語教室・日本語ボランティア活動に関する問い合わせ等が多数TNVNと各会員団体に届いています。これは国際化の活動が定常的・多岐に渡って繰り広げられ、その中で在住・滞在する多数の外国人が日本語ボランティア教室で日本語学習に留まらず日本を知る機会を

求めていることに大きな役割を果たしていると感じています。また日本語ボランティア活動実践に多くの方が関心を寄せていることもヒシと感じられます。

(2) これに定常的に開催しているユニークな「日本語ボランティア入門講習会」にこの1年24回で178名が受講され、ボランティア活動に入られている方々が大勢おられることも心強いことです。

(3) 一方会員間の情報交換・情報提供としてニュースレターを6回発行、昨年はメーリングリストを開設しましたが緒についたばかりでこれからの活用を希望しています。

(4) 「ボランティア日本語教室ガイド」は2000年に発行され3年が経ち、最新版を望む声も有ります。

今後とも現状を直視し活動の内容を考え、実行していきます。これからも絶大なるご支援とご協力をお願いします。

最後に、会員の会費でTNVNの活動が出来ています。活動についてのご意見、および会員増加と会費納入にご協力を重ねてお願いします。（梶村）

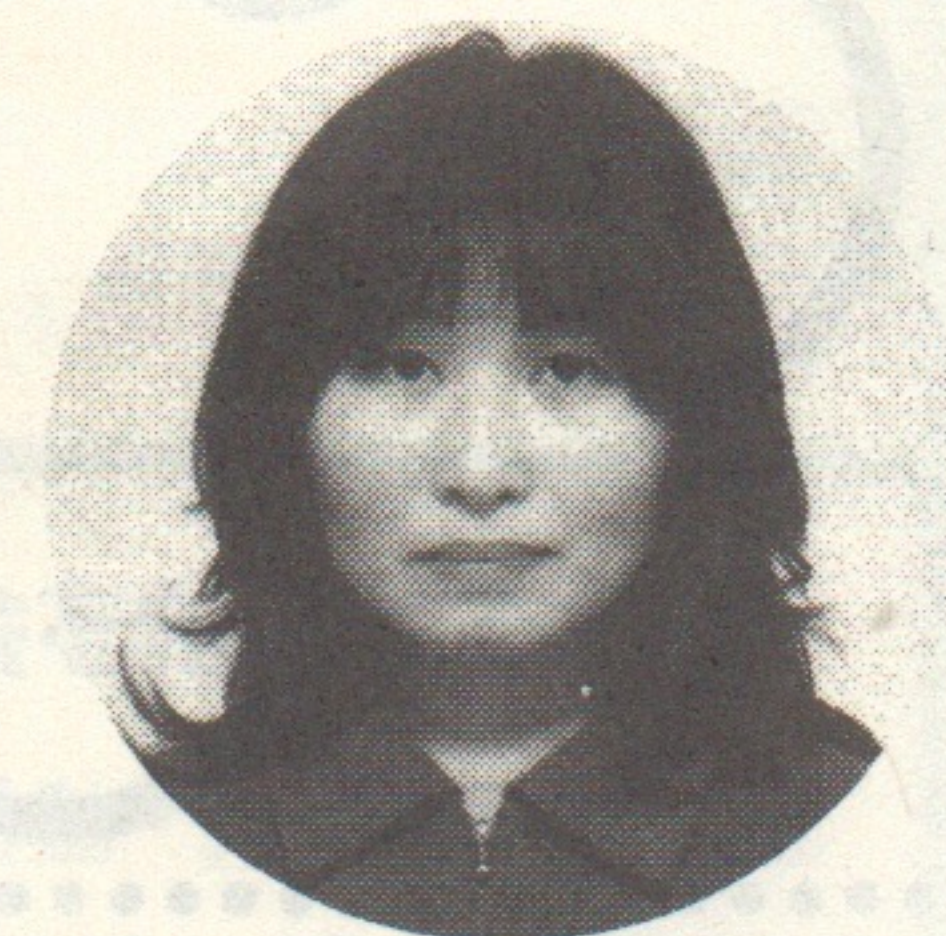
非漢字圏出身の人は生活で日本語の文字をどう見ているのでしょうか？

寄稿

千葉大学大学院博士課程／桜美林大学非常勤講師

金子 信子

E-mail : knknb@tctv.ne.jp



日本語の特徴の一つとして、表記が漢字仮名交じりであることが挙げられます。私達は日々文字をあまり意識することなく見っていますが、日本語を母語としない人は、それらをどう見ているのでしょうか。

日常での文字使用について、私はタイやブラジル、インド、パキスタン、ロシアなど、非漢字圏出身の方々にインタビューをしました。ここに東京、神奈川で2000年に聞きたいいくつかの例を紹介します。

まず、漢字を全く知らない人（Aさん、Bさん、Cさん）の場合、スーパーでの買い物について次のような報告が出ました。＜赤いパックの牛乳をいつも買う＞、＜ヨーグルトは“Morinaga”がおいしいので、そのローマ字のメーカー名を見て買う＞、＜塩は袋に魚や野菜の絵がついている（その商品には英語の表示がない）＞、＜砂糖の袋にはティーカップの絵がついている＞。このように、その方達は初めから絵や色、ローマ字などの情報で判断することが多いようです。平仮名や片仮名は全員が知っており、「レモンティー」や「じゃがいも」のように、分かる文字は読んでいました。

漢字を200字程度学習したという人（Dさん）の場合、＜子どもの学校からのお知らせで、「～組、運動、11月17日金曜日、9時30分から11時まで」など、分かるところを読んで準備をした＞、＜銀行の預金通帳は「学校、すみれ幼稚園」と金額を見る＞のように漢字仮名交じり文を読んでいます。＜預金通帳に出ている他の言葉は分からない＞、＜ATMで記帳する時、やったことがなく分からないので同行していた友人のやり方を見た＞のように、知っている語彙以外の、普段使用しない文字情報に出会った場合、対応できない様子でした。

また、Eさんも＜自宅マンションが工事中でのお知らせがよくポストに入っているが、分からないことが多いので管理人に聞く。この前は「網戸」という漢字が読めなかった＞、＜スポーツクラブで新しい機械を試した時、ボタンの漢字が分からずスピードが上がって恐くなった＞のように、多少の漢字は知っているものの、分からない漢字語に遭遇し、困るケースがあることが報告されました。

Fさんは日本語能力試験2級（漢字1000字程度）を目指している方ですが、パソコンの操作時に出る表示に奮闘しているようでした。ある時は＜「続行しますか」という言

葉が出て、それが分からずあわててしまった＞そうです。Gさんは日本語能力試験2級と1級の教科書で現在学習している方で、＜子どもの小学校のお知らせの語彙リストを自分で作る＞、＜テレビに出る漢字をメモして辞書で調べる＞など、かなり努力している様子でした。常用漢字以外の「苺」や「椎茸」といった漢字も、スーパーで見て部首を分析して覚えていました。しかし、＜子どもの予防接種の説明書は字が細かく内容も多い。自分では読めないが大切なことなので翻訳が必要だ＞、＜小学校のお知らせは言葉だけではなく、システムを知らなければ分からない＞など、自分では対処できないことも自覚し、具体的な意見が出ました。

聞き取りをした方達は滞在年数が1～3年の他、8～10年以上と長い方も多く、生活には慣れていますが、書き言葉に関して日常で時折分からないことが生じていました。FさんやGさんをはじめ漢字をある程度学習した人でも、漢字語の読み方は推測できないものがあり、画数から辞書でひくのはかなり大変で、読み方が分かると辞書がひきやすい、ルビが欲しい、という意見が出ました。また、文字が分からない場合、人に聞くという方法は全てのレベルの人が頻繁に行っていました。夫が日本人である場合は夫に聞くことが多いようですが、忙しかったり帰りが遅かったりすることがあるそうです。日本人と同居していない人は、家庭の中で解決できないこともあります。

文字情報を理解できるようにするには、その人自身が学習することも一つの方法ですが、日本人側がルビをふったりして簡単なものを書き直す、外国語情報を提供する、ことなども考えられます。このインタビューでは、英語版の市の生活ガイドブックを読んだという人がいました。そのように現在、一部の取組みがなされていますが、まだ十分とは言えません。それに対して、文字情報が分からず困った報告は、学校からのお知らせ、税金の手続き、予防接種など、公共性の高いものが出ました。

日本語を母語としない人の場合、文字情報のどんなところが難しいのか、また文字が十分分からないことがその人にどのように感じられるのか、母語話者側には推測できないところがあります。私たちは非母語話者の視点に気づき、よりよい対策を考えていくべきでしょう。

ご存知ですか？

外国人に語ろう！

国際社会における日本のウェート

バブルはなやかなりし80年代、多くの日本人は「もはや米国から学ぶべきものはなし」と豪語し、不況期の90年代になると「失われた10年」とかで自信喪失となり、いまやIT技術など某国より5年は遅れている、と自嘲気味である。

このように、日本人は特定の尺度で物事を計り、どちらが上で、どちらが遅れている、というような評価を下したがる傾向がある。国際交流とか国際理解は、まず自国のことをよく知り、外国との違いを素直に認め、そのまま受け入れて違いを楽しむことから始めるべきだろう。

それには、国際社会における日本の比重が、どのレベルにあるのか、まずデータに当たってみることだ。

世界207カ国・地域の合計GNP('98年)は、28兆2,252億ドルであり、そのうち日本の占める割合は13.4%で、アメリカの8兆2,304億ドル 29.2% に次いで第2位である。

また、国連の通常予算に占める日本の分担率(1998～2000年)から国連活動を支える日本の貢献度をみてみよう。

日本は、アメリカの25% に次いで2位の18.0～20.6% を占めている。3位はドイツの9.6～9.9%、韓国は15位の1.0%、中国は0.9～1.0%である。

つぎに、先進援助国グループであるOECD(経済協力開発機構)のDAC(開発援助委員会)諸国におけるODAについてみてみよう。

日本は、1989年にアメリカを抜いて、世界最大の援助供与国となった。そして、2001年アメリカに抜かれるまで、1991年から連続して世界の規模(1998年実績は106億4,000万ドル、2位のアメリカは81億3,000万ドル)を維持している。

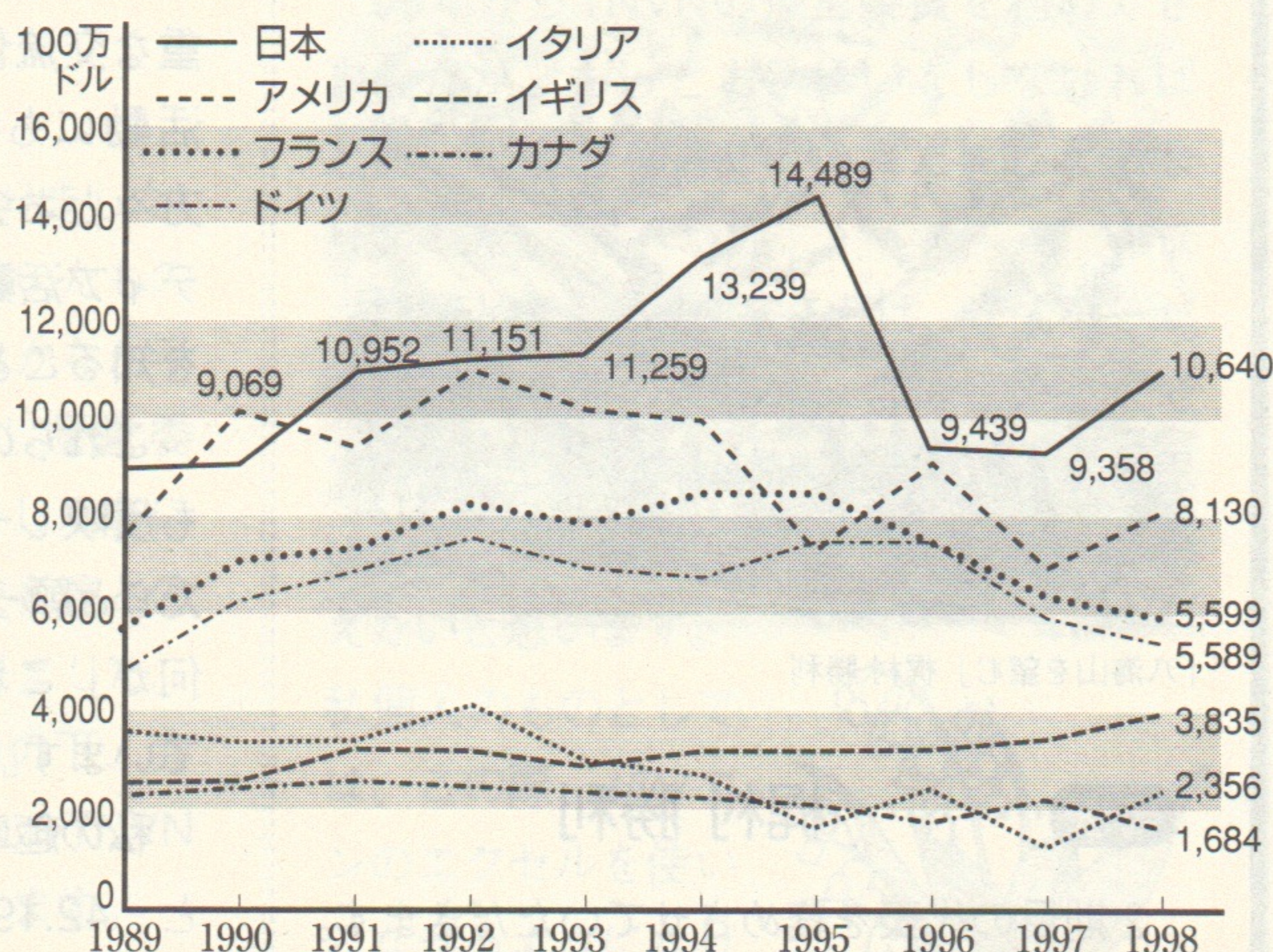
これを対GNP比でみると、1999年は21カ国中12位の0.28%であり、1位デンマークの0.99%とは、比べものにならない低さである、また、ODA全体に占める贈与比率とその絶対額について1996～97年の実績をみると、アメリカの98.8%、ドイツの80.5%、フランスの84.1%に比べて、日本は39.6%である、オーストラリア、スウェーデン、スイスの100%と比較して、あまりにも低すぎるのがわかる。

しかし、贈与の支出総額をみると、1位アメリカ

の88億5,200万ドルに次いで、72億3,000万ドルと2位をキープしている。ドイツは4位の65億9,800万ドル、スウェーデンは8位の18億6,500万ドル、スイスは13位の9億7,500万ドルである。

このように、総額はともかくとして、内容において日本のODAは改善の余地があろう。また、これらはあくまでも数量的に示された比重であり、政治的影響力やリーダーシップの強さを表わすものではないことも事実である。中国に対する弱腰の姿勢やアメリカ追随の政府のあり方をみれば、そのことをよく示している。(木村)

DAC主要国のODA実績の推移



出典：99年プレスリリース

注：東欧向け及び卒業国向け援助は含まない
日本以外は暫定値を使用

兵庫日本語ボランティアネットワーク

連絡先：〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手1-28-7 NGO神戸外国人救援センター内

URL： <http://www.hyogo-ip.or.jp/hnvn/>

兵庫日本語ボランティアネットワークは「日本語フォーラム」関西地区準備会と共に「日本語フォーラム2003in兵庫」を主催されました。

この終了後代表の長嶋昭親さんにお話を伺いました。

●創立年月日

1997年7月27日

●経緯

阪神淡路大震災（1995年1月）以降、兵庫県には「外国人」（ここで「外国人」は日本語学習支援を必要とする人）への日本語学習支援グループ・団体が数多く生まれ、教室運営、教室や人材確保、教材選定や作成、学習支援ボランティアの養成やその質的向上、生活相談活動をどうするかなど様々な問題があり、それらを解決するための情報交換や相互研修を行うために本ネットワークを作った。

●主な活動内容

◎日本語学習支援ボランティアグループ及び個人のネットワーク化と情報交換

2003年4月現在24の日本語学習支援グループ、約50人の個人会員が本会に加入している。

◎日本語学習支援および相談活動

神戸市教育委員会委託事業の日本語教室運営を昨年度から実施している。

◎日本語学習支援者向け研修講座開講

◎子供への学習（母語・日本語・教科）

◎支援活動および研修

「こうべ子どもにこにこ会」を昨年5月に立ち上げた。年少者への支援者養成講座を開講

◎兵庫県、神戸市、国際交流団体などへの提言活動

◎県内外の日本語教育・学習支援ネットワークなどとの協力、情報交換

県内では「ひょうご日本語ネット」の一員として活動、全国的には「日本語フォーラム全国ネット」への参加、「東京宣言」および「行動計画」の実現にむけて努力を行う。

日本語学習支援を外国人との相互市民活動としてとらえネット活動を目指したい。

新役員からのメッセージ



「八海山を望む」梶村 勝利

代表……………梶村 勝利

2期目の代表を務めさせていただきます。定年後から満6年、地域での日本語ボランティア活動を通して外国人学習者・日本

語ボランティアと接することで、サラリーマン時代では経験できない数え切れない貴重な交流体験を得ています。またTNVNの活動にも参加させていただき、多方面の方々とお会いし別の側面から日本語ボランティア活動についての動き、取り巻く環境を知ることができました。

これらの実体験をTNVNの活動に少しでも反映し一人でも多くの方々にお役に立てたらと願っています。「ネットワークとして何が」これを探り、実行に移したいと考えています。

私の趣味は健康づくりではじめた走ること 42.195キロのフルマラソン、日頃のトレーニングが欠かせません。また自然の美しさを表現する鉛筆淡彩画です。

そして日本語ボランティア活動も生活の中に溶け込んでいます。

こうした多方面での出会い交流を通してこれからの人生を歩んでいきます。みなさんは如何お考えですか。

副代表……………木村 茂

ボランティアは、およそ350年前イギリスで産の声をあげたものといわれています。明治の先覚も、この言葉を、論語から借用した「義勇」と訳し、義勇兵として定着しました。

ところで、最近のボランティア事情の多様化には目を見張るものがあります。なかでも、日本語ボランティアを希望する人が、

兵庫の皆様に敬意

日本語フォーラムは
とどこおりなく終了し
ました。

過去のフォーラムに
比べ内容が充実し、組織的に運営され、しかも日本語
ボランティアネットワークのポスターセッションを企画
するなど新しいものも付け加えており、兵庫日本語ボラ
ンティアネットワークの実力をはっきり示すものになっ
たと思います。東京実施のものよりすばらしいものを実
施した兵庫日本語ボランティアネットワークの皆様のご
努力に敬意を表します。なお長嶋さんは、新しく発足



挨拶をする長嶋氏

した「日本語フォ
ーラム全国ネット」
の共同代表の一人
に選ばれています。

(E.T)



日本語フォーラム会場

『日本語フォーラム全国ネット』 発足

去る3月2日(日)に神戸において開催された、『日本
語フォーラム2003in兵庫』には、全国から130名
以上が参加しました。この中で『日本語フォーラム全
国ネット』の設立総会がオープン形式で行われまし
た。提案された規約、予算、活動方針が満場の拍手で
議決され、『日本語フォーラム全国ネット』が発足し
ました。

『日本語フォーラム全国ネット』は、2001年5月に
採択された『多文化・多言語社会の実現とそのための
教育に対する公的保障を目指す東京宣言(略称:東京
宣言)』の趣旨に基づき、その行動計画を推進するこ
と(規約より)を目的とした団体です。

東京宣言と行動計画はホームページ

<http://homepage3.nifty.com/N-forum/>

にあります。ルビ付きで、多言語版は順次アップの予
定です。「東京宣言」は、前文と多文化・多言語社会
の創造、日本語学習機会の公的保障、外国人等子ども
の教育保障から構成されています。また、この「東京
宣言」に示された理念や考え方を実現するための「行
動計画」もあります。詳しくはホームページをご覧下
さい。尚、ご興味ある方は

jimukyoku@nihongo.forum.ne.jp

宛メール願います。

日本語教育の専門家や語学教師、また単
に外国人との交流のみを求める人であつた
り、とそのレベルもじつにさまざまです。
同時に、学習者も一様ではありません。

グループWAには、毎年新学期になる
と、日本語学校の就学生が大勢やってき
ます。なんだか、日本語学校の欠点をボラ
ンティアがカバーしているのではないか、
と考えさせられます。

このようななかで、TNVNの役割やスタ
ンスは、どうあるべきかを常に考え、TNVN
のさらなる発展に寄与していきたいと願う
ものです。とくに、学習者と「ともに学び
合う場」をいかに創造するか、また日本社
会に、日本語ボランティアの重要性をいか
に浸透させていくか、等について問題提起

していきたいと思います。

会計……………山本 敬子

此の度会計をさせて頂く事になりました。
TNVNは発足当時から関わってはいたもの
の、毎日の教室活動に追われ、なかなか手
を拡げられませんでした。しかし運営委
員・入門講座・副代表等を経験した事
により事務局の仕事や他団体の経験者達との
情報交換も出来、大変勉強になりました。
会計として、皆様のご理解ご協力の下、会
費を効果的に活用し、より役に立つTNVN
になる様、務めたいと考えております。

皆様のTNVNです。よい案がありましたら
ご一報下さい。

会計……………床呂 英一

96年からTNVNの運営委員を務めてき
ましたが、もっとお手伝いをしなければ
と思い、会計をさせていただくことにな
りました。

課題と考えていますことは、まず第一が
会費管理事務の正確性、合理性の追求で
す。そして会費納入率を向上させたいと思
います。次にその他の会計事務の改善を考
えたいと思います。

私個人のものとして
は、この際、パソコ
ンのエクセルを使い
こなせるようになり
たいと思っています。



Nice to Meet You

二つの教室は
それぞれ学習者もちがっています。
でも勉強の熱心さは変わりません。

ビバ日本語教室

林川 玲子（港区 白金台・新橋）



ビバ日本語教室は、1997年8月、港区白金台にある東京大学医科学研究所に事務局を置く、臓器移植者の支援と開発途上国への医療支援を行うボラン

ティア団体ビバ・トランスプランテーションの内部団体として、外国人研修医支援を目的に、医科研の会議室で木曜日の午前中に活動を始めました。

その後、地域の人たちも受け入れることができるようにと、港区白金台福社会館に教室を移しました。近くに東大の外国人研究者の宿舎があることもあり、研究者とその家族が多いのが特徴ですが、ほかに大使館の人たちなどが参加しています。

活動日には、1対1か、小グループでおしゃべりしたり、日本語の学習をしたりしていますが、どちらかというと勉強

熱心な学習者が多いようです。たまに、学術論文を見てほしいと言われてまごつくこともあります。

一方、その2年後にできた新橋教室は、新橋烏森にある港区生涯学習センターで、水曜日の夜に活動していますが、時間帯や場所柄もあり、参加者は学習者、ボランティアともに9割が会社員です。最近目立つのはIT関連の若い中国人ですが、インドや韓国など他の国の人たちもIT関連の人が多いようです。職場ではあまり日本語を話す機会がないので、日本語を話したいと参加する人が多く、初対面でもすぐに楽しげにおしゃべりが始まります。終了の午後8時になっても、なかなか席を立つ人がいなくてお当番が困るほどです。国に帰った人が、出張や旅行で来たからと寄ってくれることもあり、嬉しいです。両教室とも、時々教室の外での活動、お花見や食事会などをして、会員の親睦に努めています。

より豊かな コミュニケーションを目指して 町田日本語の会

大木 千冬（町田市）

「今日はフォーラム」「あしたはサロン」と、 트렌데이な呼び名の会場に集まり、町田地域に居住する外国人に日本語学習の支援活動を提供しているボランティア・グループです。現在約20名のボランティアが学習者のレベルに応じて、毎5回（月水木の午前、土の午後、水の夜）合計21クラス（学習者延44名）を開催しています。

1993年に地域の主婦ボランティアが中心となつて活動を開始し、その後会社の定年退職者も加わり、最近、勤

めながらの現役組も参加するようになりました。皆さんそれぞれキャリアや専門分野は異なりますが、会に入ればボランティア精神にのっとり、全員平等に会の運営に携わっております。

ボランティアも学習者も、個々人の事情に合わせて、入退会は自由です。テキストは「みんなの日本語一初級Ⅰ、Ⅱ」（スリーエーネットワーク社）を使っていますが、会話がかなり流暢でも日本の仮名文字が読めない人、また逆のケースもあり、中級以上も含めて各種の教材を臨機応変に使っています。

学習活動の他、外国人とボランティアが一体となつてお互いに交流親睦

をはかるため、様々な行事も開催しています。写真は2月に開いた「楽しい料理教室一つくって、たべて、おしゃべりしよう」の時のもので、全員で餃子を作りおいしくいただきました。

お陰様で本年設立10周年を迎え「楽しく教え、楽しく学ぶ」をモットーに、お互いより豊かなコミュニケーション、そして市民レベルのより深い国際交流を目指して頑張りたいと思っております。



日本の風呂屋

李仙姫／韓国

早稲田奉仕園日本語サークル／新宿区

学習者の声

いました。小さいお風呂でもいろいろな規則があります。日本の習慣になれるのにいちばんいいところはお風呂だと思いました。

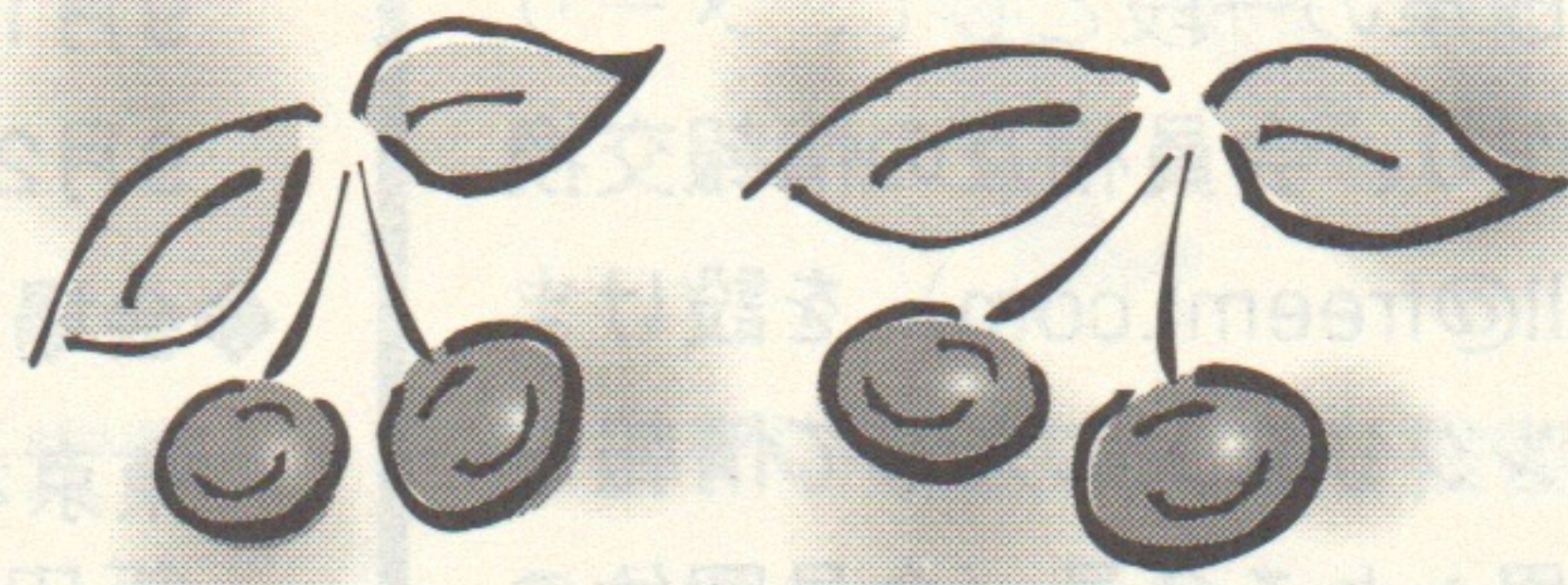
ねんれいがちがう女性が集まってけしゅうもしないで服も着ないでいろいろ話をしていきますので、日本語と日本の習慣が勉強できます。私は日本のお風呂が大好きです。小さいけどまいにちおゆの中にいいものが入っていていい気持ちです。たとえば、リンゴやグレープフルーツやラベンダーがはいついて体にもいいです。

私達と文化がちがってもまもる規則はどの国でもあると思います。韓国へ帰っても日本のお風呂を思い出すかもしれませんね。

早稲田奉仕園日本語サークル会報（2003年2月号 NO.8）

私は、お風呂が好きです。韓国でも一週間に一回サウナへ行ってたんですが、日本ではあまり行かなかったんです。近所のお風呂がどこにあったかも知らなかったし、お風呂の文化が違ふことでお風呂へ行くことが何かこわかったからです。でも勇気を出して友だちがおしえてくれたお風呂へ行きました。

お風呂の入口は韓国とにてるし料金もあり高くなかったです。韓国みたいに大きなお風呂じゃなくて小っちゃなお風呂だったのでちょっと人が近くて気まずかったです。まわりをよく見ると老人たちがいっぱいいました。おばあちゃんたちは、やさしくても怒るときびしい人もいます。若い女性がサウナの中に入ったあとでシャワーを浴びないでお風呂に入ったとき、おばあちゃんがもんくを言



学習者の声

うちのスーヒョンがさくらんぼ保育室で楽しく過ごせるか心配したけれど、保育室の先生がとてもしんせつでおもしろくて、スーヒョンは「もっとさくらんぼであそびたい」と言いました。

わたしの友だちも日本語を勉強したいのですが、さくらんぼ保育室がいっぱいで勉強できません。（保育室に）はいれる子どもの数をふやしてください。

●やさしい日本語が活動している江東区女性センターには、幼児を専任の保育士が預かってくれる『さくらんぼ保育室』があり好評ですが、人数制限があるのが残念な点です。

（やさしい日本語代表）

さくらんぼ保育室

李相五／韓国

やさしい日本語／江東区

ボランティアの声

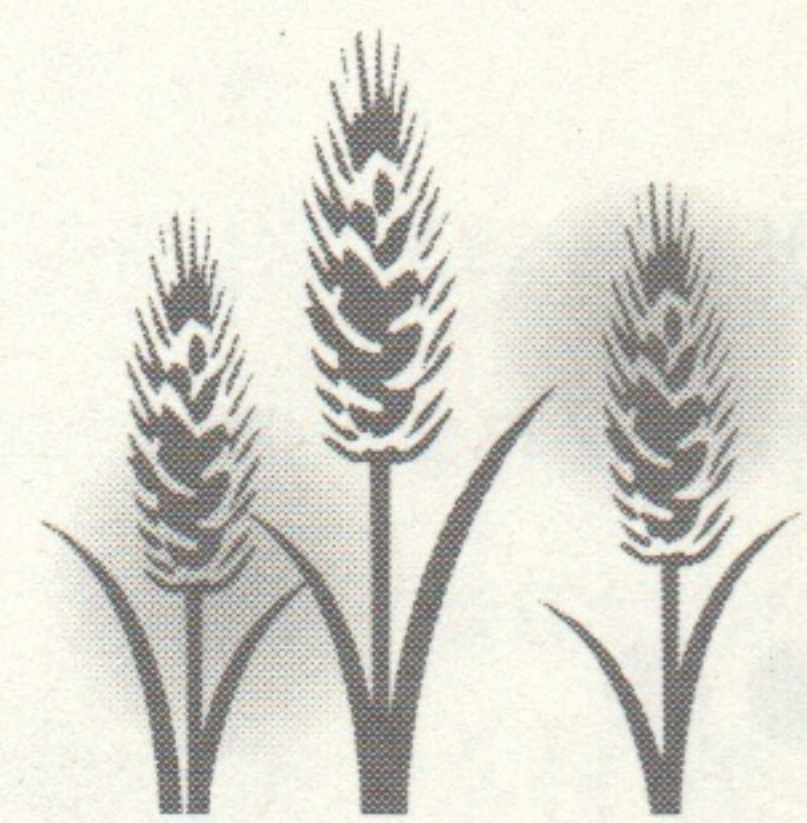
日本語教室 コーディネーター どたばた記

佐藤薫 国際協会（町田市）

グループを決め、担当の支援者に紹介したりしているともう始まる時間。私のグループの面々も来た。「さあ、勉強は始めましょう」……と、向こうに不安そうな顔が。「私の先生、いない!」「仕事が終わらないのかもね。ここで勉強して待っていてね」彼の様子を横目で見ながら学習を始める。「＜て形＞の練習。朝起きて、顔を洗って、ご飯を食べて…」とそのとき、新しい外国人が現れる。「アーワタシ、ハジメテ。ニホンゴ、ベンキョウ、ナンタラカンタラ…」。

こうしてコーディネーターのお仕事は際限なく続いていく。

夕方、町田の雑踏の中を教室に向かう。「えーと、今日はYさんお休みだ。彼のグループは中級だからAさ



んのグループに入れてもらおう」などと考えながら着くと、新入生が来るというお知らせ。「えー、3人も入るのか。どのグループ?」と考える間もなく本人たちが来て面接。知らない国の知らない教室。言葉もわからない。みんな「私は不安です」という顔でやってくるのでなるべく笑顔で迎える（いつも無愛想な私がこのときは性格変わっている）。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックスNo.4

TEL : 03-3235-1171

(呼び出し:金曜日午後のみ)

FAX : 03-3235-0050

URL : <http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

MAIL ID : tnvn@t3.rim.or.jp

●事務局は金曜日に活動しています。

◆日時：毎週金曜日

第1,第3,第5金曜日 午後2時～4時
第2,第4金曜日 午後2時～7時

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター

●会員のメーリングリストを作りました

「活動する一人一人のためのネットワーク」を目指す改革の一段として、メーリングリストを作り、会員相互の情報交換の場 (tnvn-all@freeml.com) を設けました。メーリングリストに入って情報を共有したいと思われる会員 (会員団体のメンバー) および協力会員のご参加をお待ちしています。e-member として登録させていただきます。

◆申し込み・質問は

ML ID : tnvn@t3.rim.or.jp まで

●日本語ボランティア入門講習会

日本語ボランティアを始めたい方のために役立つ基礎知識の講座です。活動のオリエンテーションとしてぜひ受講してください。

◎学習者をどのように支援しているか？

(梶村)

5月 9日 (金) 午後2:00～4:00

5月23日 (金) 午後6:00～8:00

◎事例報告 (岡田)

6月13日 (金) 午後2:00～4:00

6月27日 (金) 午後6:00～8:00

◎日本語再発見 (木村)

7月11日 (金) 午後2:00～4:00

7月25日 (金) 午後6:00～8:00

◎考えよう日本語 (藤橋)

8月 8日 (金) 午後2:00～4:00

8月22日 (金) 午後6:00～8:00

◎日本語ボランティアとは？ (床呂)

9月12日 (金) 午後2:00～4:00

9月26日 (金) 午後6:00～8:00

◆会場

東京ボランティア・市民活動センター
飯田橋セントラルプラザ10階会議室
(JR・地下鉄飯田橋駅下車徒歩1分)

◆参加費

1回600円 (TNVN会員は300円)

◆参加申込み

直接、会場へおこしください。

●日本語ボランティア相談窓口

事務局では日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にベテランスタッフがおこたえます。電話またはE-mailでご確認の上、お気軽におこしください。

●TNVNへの入会を希望する方は

TNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。(送料90円 切手同封)
＜入会手続＞申込用紙に必要事項を記入し、TNVN事務局に郵送またはFAXでお送り下さい。E-mailでも申し込めます。あわせて会費をお振り込みください。会員の方には毎回ニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ参加できます。

◆会費／正会員：年会費3,000円

協力会員：年会費2,000円

賛助会員：年会費1口1万円

◆会費払込み先

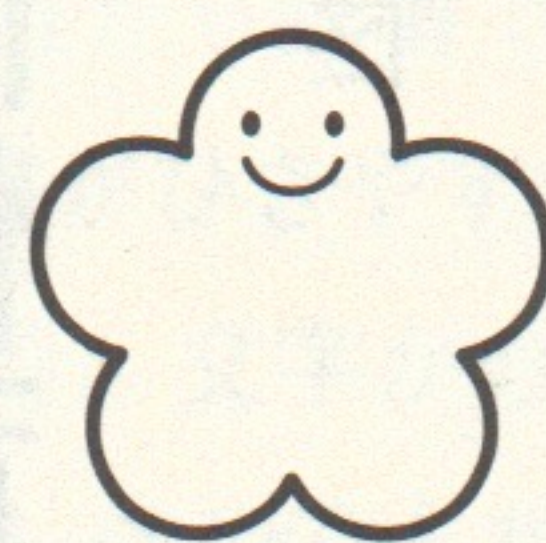
郵便振替口座番号00100-1-719259

口座名

東京日本語ボランティア・ネットワーク
(通信欄に『年会費』と記入)

●連絡先の変更等は郵便かFAXで

団体の代表・連絡先 (TNVNからの郵便物の宛先)・住所などの変更および退会は、事務局まで郵便やFAXまたはE-mailでお知らせ下さい。



私なりのボランティア活動から

先頃、台湾と中国で出会った会社員と大学生たちから帰国後、「私は先生の学生になりました」と思います。先生はどう思いますか」というようなメールをもらいました。いずれも現地の日本語教育機関で日本語を学んでいる若者たちですが、要するに、日本語を教えてほしいということです。メールで日本文を送るので、手直ししたりしてほしいということでしょう。「いいですよ。でも、私は日本語の先生ではないので、満足してもらえるかどうか分かりませんが、〇〇さんの日本語の勉強に役に立てばうれしいです」というような返事を出しました。

私は1年ほど前に定年退職しましたが、それ以前は長い間、出版社の日本語教育部門で編集に携わっていました。外国人の日本語学習者や、日本語教師、同志望者のための月刊誌やテキスト、参考書などの制作が主な仕事でした。簡単にいえば、日本語教育に関する情報と教材を提供する役割でした。TNVNにも取材でお世話になったこともありました。

これからも引き続き日本語教育とはかわっていくつもりですが、今度は、立場を変えて、外国人学習者や日本語を教える人たちと直接交じわる現場で役に立ちたいと思ってTNVNに参加しました。まずは私なりに冒頭に述べたような形などでボランティア活動をしながら、ニュースレターの発送など、お手伝いのできるところから始めたいと思っています。どうぞよろしく。(T.N.)

SPECIAL THANKS

★金子 信子様

(千葉大学大学院)

快く執筆いただきました。



*2003年4月15日現在の会員数

◎正会員 61団体 ◎協力会員 93名

◎賛助会員 4団体



●編集

岡田 美奈子、梶村 勝利、

木村 茂、床呂 英一、

西岡 暉純、林川 玲子、山本 敬子

●レイアウト／鶴田 環恵